

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ここから未来へ 名古屋みなと校	公表日				2025年1月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		時間割制で支援を行っており、1枠最大3名までで活動しております。お子さん3人が自由に活動できるようスペース確保や教具を充実するよう工夫しております。	動きが大きいお子さんが集中している時間帯が増えると、もしかしたらやや狭いと感じられるかもしれません		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動中、遊びに合わせて1対1で対応する場面や1対2で遊びを展開するときもあり、お子さんの遊びや状態に合わせて臨機応変に配置数を変えております。	基本の配置基準は満たし1対1で対応しているが職員の体調不良など急な職員の休みに対応することが難しいことがあります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		肢体不自由児のお子さんはまだ利用児としていらっしゃいませんが、段差は、活動スペースにはなく、お子さんの目にはいる情報が多くならないように配慮しております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の活動の終わりに毎日掃除、清掃、消毒をしております。また、教具などは時間割ごとに消毒し、整理整頓し活動しやすいよう工夫しております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さんが活動可能なお部屋は自由に使用できるようにしております。お子さんの活動に合わせて臨機応変に対応しております。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝のミーティングで行い課題や不安点、困りごとを洗い出しスタッフ同士で情報共有をしております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様向け評価表や日々の保護者様のお声を聞き、日々の支援や業務に反映するようにしております。	保護者向け評価表のアンケートの回収率が低いため、保護者への周知できるよう改善をしていきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングや法人内での定期的な面談、月に一度の会議などで不安点や困りごとなどを出し合えるような機会を作り、業務改善につなげるよう心がけております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価が、市や県による実施地指導でしたらまだ行っておりません。必要に応じて対応したいと思います。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		今年は職員一名が強度行動障害の研修を受講。必要な研修に対して参加を募り資質向上意識を高めるようにしております。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは作成、ホームページで公開しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		体験時のお子さんの様子や、ご契約時にアセスメントや保護者様の気持ち、ニーズを聞きながら計画書を作成しております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		初回利用日までに、体験時の様子を全員で共有し、一度支援会議を開き、初回利用時やそれ以降で姿に変化があれば都度モニタリングを行っております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有し、支援にあたっております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの様子や状況の変化を、職員が把握できるように、アセスメントや日々のお子さんの様子を記録するよう徹底しております。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、設定しております。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子さんのしたい活動が思う存分できるように環境設定や教具の種類を揃え、職員間で、そのお子さんが今なにに興味に向いているかを常に共有し、その遊びが満足できるように楽しめるよう、環境を整えております。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さんの遊びの様子や活動に合わせて教具を入れ替えしたり、良い刺激になるよう工夫しております。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援療育に特化している事業所ですので、集団よりも個別支援に力を入れております。ただ、同じ時間に活動するお子さんが最大3人までいますので、その中でお友だちと一緒に遊びたいというご希望がありましたら、小集団で活動もできるようにしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前のカンファレンスは毎日行い、連携に気を付けております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援時間終了の時間や、保護者様へ公開するサービス提供記録記入、ケア記録の記入の関係により、支援の翌日に支援の振り返りを	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり、支援の検証や改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が連携を行い、その後職員間で情報を共有しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	直接連絡、連携をとったことはまだないですが、相談員さんを通じて連携を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	インクルージョン推進の観点から支援を行っており、必要に応じて保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との支援内容等の情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	現在は行っておりませんが、必要に応じできるような体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	西部療育センターと必要に応じて連携は取っており、今後、必要に応じてスーパーバイズスーパーバイザーの機会に繋がられるようにしていきたいと思います。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	保護者様送迎をお願いしており、園の先生と直接お話しできるのがサービス担当者会議のみという現状です。また、個別支援という特性から、そういった機会は設けておりません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、保護者様へ支援の内容と振り返りとともに、お子さんの状況や変化について情報共有しております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時には必ず説明しております。また、わからないことがあった場合、その都度、保護者様に説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングや個別支援計画書更新の際には面談の機会を設け、保護者様とお話ができるようにしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		しております。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際は必要に応じて個別に対応しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際は必要に応じて個別に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ラインのメッセージや成長療育支援システムHUG、Instagramでの発信を行い、保護者様に合わせてお伝えしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		しております。また、Instagramにはお子さんの写真を載せないという方針です。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	研修は開きましたが訓練は今後行う予定です	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	研修は開きましたが訓練は今後行う予定です	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時に保護者様への聞き取りを実施しております。また、アセスメントシートへの記入もお願いしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	4 5分間の個別支援のため食事はおやつ提供はしない方針です。必要に応じて対応していきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	研修は開きましたが訓練は今後行う予定です	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	どちらともいえない		職員間では研修などで周知しているが、ご家族様へはまだ周知まではできていない。質問があったときに都度個別に対応している状況です。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在は対象となるお子さんはいらっしゃらないですが、対応できる体制は整えております。	